

キトーチェーンブロック CX 形

定期点検基準マニュアル (CX003/005 形)

安全上のご注意

本チェーンブロックの定期点検基準マニュアルには、定期点検する方・お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく定期点検していただくために重要な内容を記載しています。

定期点検を行う前に、チェーンブロック CX003/005 形の「取扱説明書」(別冊)の内容も適用されますので、事前にお読みいただき、あわせてお守りください。

また、本チェーンブロックの定期点検を行うためには、分解・組立作業が伴います。別冊の「分解組立マニュアル」を参照し、正しく行ってください。

定期点検する方について

定期点検は保守管理者※のみ行うことができます。

※：チェーンブロックの構造や仕組みに関し精通し、専門知識を有すると事業者により認められた方
または、構造や仕組みに関し精通し、「定期点検基準マニュアル」や「分解組立マニュアル」を理解できる方
この条件を満たさない場合は、キトーにご相談またはご依頼ください。

定期点検全般について

⚠ 危険



禁止

チェーンブロックの定期点検は、保守管理者以外の方は行わないでください。

保守管理者以外の方が行くと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。



禁止

使用限界、判定基準を超えた部品、キトーチェーンブロック CX003/005 形用純正部品以外は使用しないでください。

キトーチェーンブロック純正部品であっても、モデルが異なると使用できない場合があります。分解組立マニュアルに従って正しく部品を使用してください。これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。



禁止

荷をつった状態でのチェーンブロックの定期点検は、行わないでください。

チェーンブロックの定期点検を行う場合は、製品を床に降ろして行ってください。荷をつった状態で定期点検を行うと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。



禁止

ブレーキバンに油を付けないでください。

ブレーキバンは乾式です。ブレーキバンに油が付着するとブレーキ不良が発生し、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠ 危険



禁止

潤滑油（グリース・錆止め油など）を使用する場合は、火気や、火花の発生する場所で使用しないでください。

発火の恐れがあります。



強制

定期点検（1ヶ月ごと、1年ごと）を行ってください。

定期点検（1ヶ月ごと、1年ごと）を行わないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

また、使用条件によっては、点検サイクル以前に行う必要があります。日常点検の状況や動作音などにも注意し、適切な頻度で点検を行ってください。



強制

定期点検中に異常を発見したときは、使用を中止して「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者またはキトーにご相談ください。

異常な製品を使用すると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。



強制

年次点検が終了したら、分解組立マニュアルに従って機能検査（操作チェック）を行い、正しく動作することを確認してください。

これらを守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠ 注意



強制

ウエック、シタフックの開き寸法・厚み寸法を購入時の寸法と比較し、管理基準を外れていないか点検してください。

傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

■ 定期点検チェックシートについて

⚠ 危険



強制

定期点検中に異常を発見したときは、使用を中止して「故障・点検中」の表示をし、修理を保守管理者またはキトーにご相談ください。

異常な製品を使用すると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

* このチェックシートはキトーの定期点検基準マニュアルをベースとした標準サンプルです。

お客様の使用環境・条件により、チェックシートのフォーマットを決めて運用してください。

その際には、必ず全ての点検項目を盛り込んでください。

点検のすすめ

点検は安全の第一歩。日常点検・定期点検を励行しましょう。

- ・ 日常点検については、作業される方が「取扱説明書」を参照して行ってください。
- ・ この定期点検基準は月例点検と年次点検項目で構成されています。
- ・ 定期点検は、保守管理者が行うか、キトーにご相談ください（または巻末のキトーサービスネットワークの中から、お近くのサービスショップにご相談いただいても結構です）。
- ・ 点検項目は標準的な使用環境や条件を前提として構成されております。特殊な環境や条件下でのご使用の場合、別途キトーにお問い合わせください。
- ・ 年次点検は分解・組立を伴います。別冊の「分解組立マニュアル」を参照し、正しく行ってください。

点検基準

⚠ 危険



禁止

使用限界、判定基準を超えた部品、キトーチェーンブロック CX003/005 形用純正部品以外は使用しないでください。

キトーチェーンブロック純正部品であっても、モデルが異なると使用できない場合があります。分解組立マニュアルに従って正しく部品を使用してください。これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの恐れがあります。

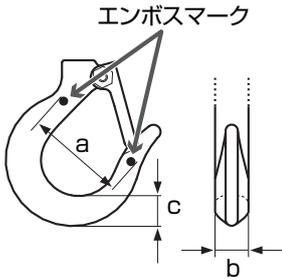
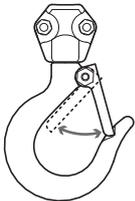
■ 月例点検

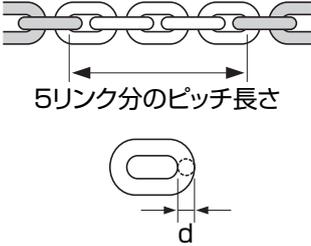
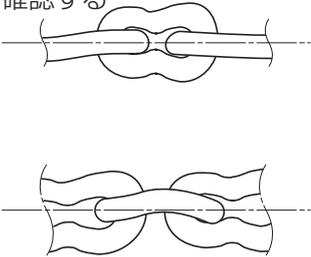
設置された状態または作業台上で点検します。

お願い

- 日常点検項目に加えて下記項目をチェックしてください。月例点検を行うときは、日常点検項目を点検後、月例点検をしてください。

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法
基本動作	軽い荷重をつり、巻き上げ・巻き下げ操作を行う	<ul style="list-style-type: none"> • 巻き上げ時、ブレーキ装置のツメの「カチカチ」音が聞こえ、スムーズに動作すること。 • 音が弱くなったり、不規則音になっていないこと。 • 巻き下げ時、音がしないこと。 • 手動力が異常に重くないこと。 • ブレーキの滑りがないこと。 	正常に組み立てられているか、部品に異常はないか、分解して点検する。
上下フック	目視確認 	<ul style="list-style-type: none"> • ねじれなど、変形が明らかなものは使用限界。 • 深い切り込みキズなどがいないこと。 • リベット・ボルト・ナットなどがゆるんだり、脱落していないこと。 • スパッタなどの異物が付着していないこと。 	ウエフッククミタテまたはロードチェーンを交換する。

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法																																			
上下フック	ウエフックとシタフックの a,b,c の寸法をノギスで測定する 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">△ 注意</p> <p>! 強制</p> <p>ウエフック、シタフックの開き寸法・厚み寸法を購入時の寸法と比較し、管理基準を外れていないか点検してください</p> <p>傷害、または物的損害発生の恐れがあります。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">基準値</th> <th>限界値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a 寸法</td> <td>購入時の寸法を超えないこと</td> </tr> <tr> <td>b 寸法</td> <td>5%以上の摩耗</td> </tr> <tr> <td>c 寸法</td> <td>5%以上の摩耗</td> </tr> </tbody> </table> <p>• なお参考までに下表に公称基準値を付記しますが、フックは鍛造熱処理品であるため多少の寸法誤差があることをご承知おきください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷重 (t)</th> <th colspan="2">a 寸法 (mm)</th> <th colspan="2">b 寸法</th> <th colspan="2">c 寸法</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> <th>基準</th> <th>限界</th> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>39</td> <td>11</td> <td>10.5</td> <td>12.5</td> <td>11.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>45.5</td> <td>12</td> <td>11.4</td> <td>15</td> <td>14.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基準値	限界値	a 寸法	購入時の寸法を超えないこと	b 寸法	5%以上の摩耗	c 寸法	5%以上の摩耗	定格荷重 (t)	a 寸法 (mm)		b 寸法		c 寸法		基準	限界	基準	限界	基準	限界	0.25	39	11	10.5	12.5	11.9		0.5	45.5	12	11.4	15	14.3		ウエフックミタテまたはロードチェーンを交換する。
基準値	限界値																																					
a 寸法	購入時の寸法を超えないこと																																					
b 寸法	5%以上の摩耗																																					
c 寸法	5%以上の摩耗																																					
定格荷重 (t)	a 寸法 (mm)		b 寸法		c 寸法																																	
	基準	限界	基準	限界	基準	限界																																
0.25	39	11	10.5	12.5	11.9																																	
0.5	45.5	12	11.4	15	14.3																																	
	首部の変形を目視で確認する 	<ul style="list-style-type: none"> • 首部にねじれなど変形が明らかなものは使用限界。 	ウエフックミタテまたはロードチェーンを交換する。																																			
	フックを回転させる	<ul style="list-style-type: none"> • 軽く回ること。 	ウエフックミタテまたはロードチェーンを交換する。																																			
フックラッチ	フックラッチを数回動かしてみる 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">△ 危険</p> <p>⊘ 禁止</p> <p>フックラッチの外れたフックは使用しないでください。荷が落下して、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • フックの口の中にしっかりと閉じてついていること。 • スムーズに動くこと。 	フックラッチを交換する。																																			

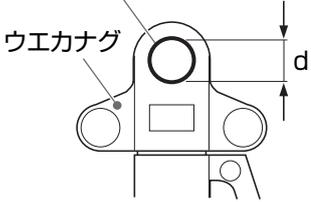
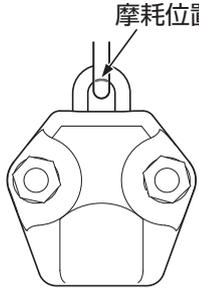
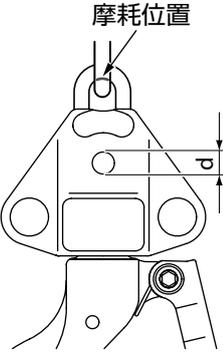
項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法																			
ロードチェーン	摩耗度合いを目視とノギスで確認する 	<p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 特にロードシーブと噛み合う部分を念入りにチェックしてください。 <table border="1" data-bbox="683 362 1177 510"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷重 (t)</th> <th colspan="2">5リンク分のピッチ長さ (mm)</th> <th colspan="2">線径 (d) mm</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> <th>公称線径</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>45.5</td> <td>46.8</td> <td>3.2</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>60.5</td> <td>62.3</td> <td>4.3</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ロードチェーンの摩耗は、基本的に5リンクのピッチの和を測定することにより点検を行ってください。ただし、目視などにより線径の摩耗が著しい場合には、交換してください。 数値管理をされる場合は、上表の限界値を参考に線径測定をしてください。なお、5リンク分のピッチ長さとの測定には、先の細いノギス（ポイントノギス）が必要です。 	定格荷重 (t)	5リンク分のピッチ長さ (mm)		線径 (d) mm		基準	限界	公称線径	限界	0.25	45.5	46.8	3.2	2.9	0.5	60.5	62.3	4.3	3.9	ロードチェーンを交換する。
定格荷重 (t)	5リンク分のピッチ長さ (mm)			線径 (d) mm																		
	基準	限界	公称線径	限界																		
0.25	45.5	46.8	3.2	2.9																		
0.5	60.5	62.3	4.3	3.9																		
	腐食（錆）がないか目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 著しい腐食（錆）がないこと。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ロードチェーンの摩耗が確認されたら、ロードシーブも確実にチェックしてください（年次点検「巻き上げ機構」の頁、ロードシーブを参照ください）。 ロードチェーンには潤滑油形錆止め油 JIS K 2246 1種1号 NP-9 相当（出光興産 ダフニー オイルコート RL-44 推奨）を使ってください。 	ロードチェーンを交換する。																			
	変形・キズがないか目視で確認する 	<p>△ 注意</p> <p>取扱説明書の禁止事項を守り、正しい作業方法でお使いください。</p> <p>強制</p> <ul style="list-style-type: none"> ねじれなどの変形がないこと。 深い切り込みキズなどがないこと。 	ロードチェーンを交換する。																			
	スパッタの付着がないか目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> スパッタなどの付着がないこと。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 溶接等の火花が製品に付着しないようにしてください。 	ロードチェーンを交換する。																			

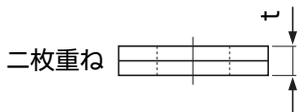
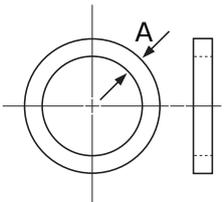
■年次点検

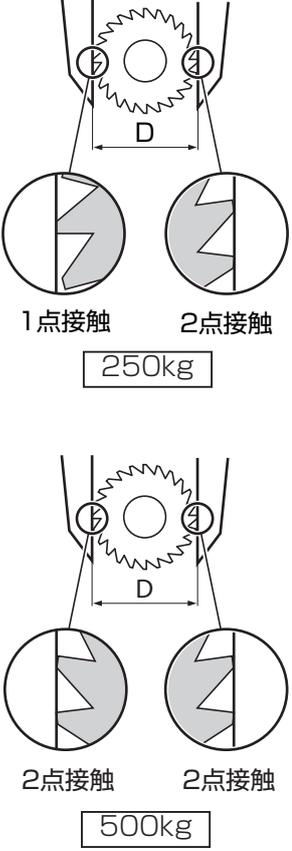
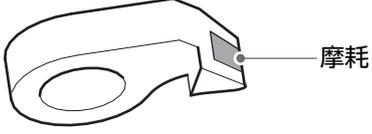
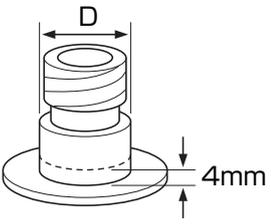
分解の上、各部品の詳細をチェックします。
点検が終了したら、「分解組立マニュアル」に従い、
正しく再組立してください。

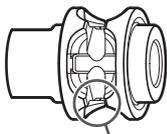
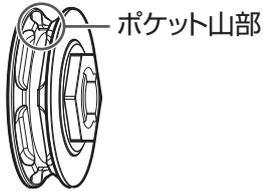
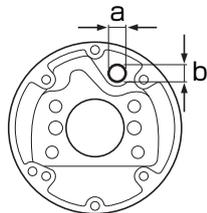
お願い

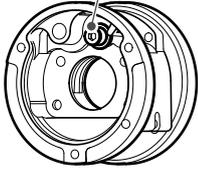
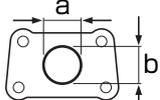
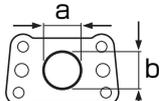
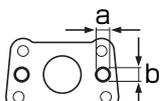
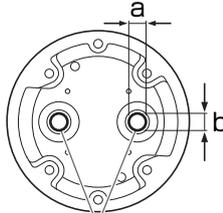
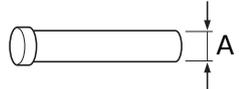
- 月例点検項目に加えて下記項目をチェックしてください。
分解組立作業は、別冊の「分解組立マニュアル」を参照して
正しく行ってください。

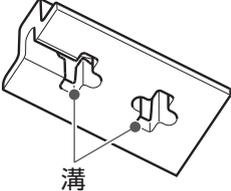
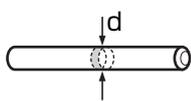
項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法														
ウエフック	<p>ウエカナグのツナギジク挿入穴の穴径を、ノギスで測定。 長穴状の場合は、最大寸法方向を測定。</p> <p>ツナギジク挿入穴</p> 	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷重 (t)</th> <th colspan="2">穴径 (d) mm</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ツナギジク部</th> </tr> <tr> <th></th> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>8.3</td> <td>8.8</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>10.3</td> <td>10.8</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷重 (t)	穴径 (d) mm		ツナギジク部			基準	限界	0.25	8.3	8.8	0.5	10.3	10.8	ウエフッククミタテを交換する。
定格荷重 (t)	穴径 (d) mm																
	ツナギジク部																
	基準	限界															
0.25	8.3	8.8															
0.5	10.3	10.8															
シタフック	<p>シタカナグ側のチェーン摩耗位置（矢印部）の摩耗を確認する</p>  <p>CX003</p>	<ul style="list-style-type: none"> シタカナグ側のチェーン摩耗位置に著しい摩耗がないこと。また、曲げ変形がないこと。 月例点検（6 ページ）を参考にして、線径の数値管理をしてください。限界値を外れたものは使用限界です。 摩耗量（線径）の測定には、先の細いノギス（ポイントノギス）が必要です。 	ロードチェーンを交換する。														
	 <p>CX005</p>	<ul style="list-style-type: none"> CX005 は、チェーンメピン穴寸法 d が下表の限界を超えないこと。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>チェーンメピン穴径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>限界値</td> <td>5.7</td> </tr> </tbody> </table>		チェーンメピン穴径 (mm)	基準	5.2	限界値	5.7	シタフックイッシキを交換する。								
	チェーンメピン穴径 (mm)																
基準	5.2																
限界値	5.7																

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法											
ブレーキ機構	ブレーキ面の摩耗・キズを目視で確認する	<p style="text-align: center;">⚠ 危険</p> <p> ブレーキバンに油をつけないでください。</p> <p>禁止 ブレーキバンは乾式ブレーキです。ブレーキバンに油が付着するとブレーキ不良が発生し、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブレーキウケ・ブレーキバン・ツメグルマ・ハンドホイルクミタテなどのブレーキ面に、異物による引っ掻きキズや、えぐったようなキズがないこと。 上記部品のブレーキ面の加工跡（ツールマーク）が消え、光沢を帯びる程に摩耗していないこと。 	キズまたは摩耗している部品を交換する。											
	ブレーキバンの割れを目視で確認し、摩耗をノギスで確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキバンに割れ・亀裂のないこと。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷量 (t)</th> <th colspan="2">ブレーキバン 2 枚厚さ t 寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>5.0</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>5.0</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷量 (t)	ブレーキバン 2 枚厚さ t 寸法 (mm)		基準	限界	0.25	5.0	4.5	0.5	5.0	4.5	ブレーキバンを2枚とも交換する。
定格荷量 (t)	ブレーキバン 2 枚厚さ t 寸法 (mm)													
	基準	限界												
0.25	5.0	4.5												
0.5	5.0	4.5												
	ツメグルマブッシュの摩耗をノギスで測定する 	<ul style="list-style-type: none"> 円周方向の厚さが均一であること。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷量 (t)</th> <th colspan="2">A 寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>2.1</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷量 (t)	A 寸法 (mm)		基準	限界	0.25	1.6	1.4	0.5	2.1	1.9	ツメグルマブッシュを交換する。
定格荷量 (t)	A 寸法 (mm)													
	基準	限界												
0.25	1.6	1.4												
0.5	2.1	1.9												
	マッチの炎を軽くあて、ツメグルマブッシュの含油を確認する	<p style="text-align: center;">⚠ 危険</p> <p> 潤滑油（グリース・錆止め油など）を使用する場合は、火気や、火花の発生する場所で使用しないでください。</p> <p>禁止 発火の恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 充分含油していること（熱で油が表面に滲み出る程度）。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 交換・組立を行うときは1日タービン油に漬け込んでから、まわりの油をよく拭き取って使用してください。 	1日タービン油に漬け込んでから、まわりの油をよく拭き取る。											

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法											
ブレーキ機構	<p>ツメグルマの摩耗度合いをノギスで測定する</p>  <p>1点接触 2点接触 250kg</p> <p>2点接触 2点接触 500kg</p>	<table border="1" data-bbox="646 197 1139 349"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷量 (t)</th> <th colspan="2">D 寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>33.8</td> <td>32.4</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>44.3</td> <td>42.9</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷量 (t)	D 寸法 (mm)		基準	限界	0.25	33.8	32.4	0.5	44.3	42.9	ツメグルマを交換する。
定格荷量 (t)	D 寸法 (mm)													
	基準	限界												
0.25	33.8	32.4												
0.5	44.3	42.9												
	ツメを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> ツメの先端が段のつくほど摩耗していないこと。 	ツメを交換する。											
	ツメバネクミを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 変形・キズ・折損・へたりのないこと。 	ツメバネクミを交換する。											
	腐食（錆）がないか目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 各部品に著しい腐食（錆）がないこと。 	腐食した部品を交換する。											
	<p>ブレーキウケのツメグルマブッシュ接触部の摩耗をノギスで測定する（下図点線部）</p> 	<table border="1" data-bbox="646 1742 1139 1895"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷量 (t)</th> <th colspan="2">D 寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>16.4</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>21.9</td> <td>21.1</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷量 (t)	D 寸法 (mm)		基準	限界	0.25	16.4	15.6	0.5	21.9	21.1	ブレーキウケを交換する。
定格荷量 (t)	D 寸法 (mm)													
	基準	限界												
0.25	16.4	15.6												
0.5	21.9	21.1												

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法
巻き上げ機構	ロードシーブの摩耗・キズを目視で確認する  ポケット山部	<ul style="list-style-type: none"> シーブポケットの摩耗や山部への乗り上げキズのないこと。 	ロードシーブを交換する。
	ロードギヤ・ギヤ2 歯部の摩耗・キズを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 歯欠け・歯に段つき摩耗・キズがないこと。 	ロードギヤ・ギヤ2を交換する。
	ピニオンの変形を目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 曲りなどの変形が認められたものは使用限界。 	ピニオンを交換する。
	ピニオン歯部の摩耗・キズを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 歯欠け・歯の段つき摩耗・キズなどがないこと。 	ピニオンを交換する。
	ハンドホイルの摩耗・キズを目視で確認する  ポケット山部	<ul style="list-style-type: none"> ポケットの摩耗や山部への乗り上げキズ・破損などがないこと。 	ハンドホイルクミタテを交換する。
	カムガイドの変形を目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 目視で変形が明らかなものは使用限界。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;"> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> カムガイドの変形は、過巻き下げ作業（限界まで巻き下げる作業）の結果です。使用される方に取扱いを指導してください。 </div>	カムガイドを交換する。
	ハンドチェーンを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> ねじれなどの変形がないこと。 	ハンドチェーンを交換する。
ボディ	ツナギジク用軸受穴を目視とノギスで確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変形したり著しいキズのないこと。 a、b寸法の差が0.5mm以内であること。 	ボディクミを交換する。

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法											
ボディ	ツメジクを目視で確認する ツメジク 	<ul style="list-style-type: none"> ツメジクの緩みがないこと。 	ボディクミを交換する。											
	フレームA・Bのロードシーブの軸受け穴を目視とノギスで確認する フレームA  フレームB 	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変形したり著しいキズのないこと。 a、b寸法の差が0.5mm以内であること。 	フレームAまたはBを交換する。											
	フレームBのギヤの軸受け穴を目視とノギスで確認する フレームB 	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変形したり著しいキズのないこと。 a、b寸法の差が0.5mm以内であること。 フレームが変形していないこと。 	フレームBを交換する。											
	ギヤケースの変形・キズを目視で確認する	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変形したり著しいキズや割れのないこと。 	ギヤケースクミを交換する。											
	ギヤケースのプレーンベアリングの穴の摩耗を目視とノギスで確認する プレーンベアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変形したり著しいキズのないこと。 a、b寸法の差が0.5mm以内であること。 	ギヤケースクミを交換する。											
	ツナギジクの変形・摩耗目視とノギスで確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 目視で変形が明らかなものは使用限界。 <table border="1" data-bbox="646 1960 1141 2116"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷重 (t)</th> <th colspan="2">A寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>8</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>10</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷重 (t)	A寸法 (mm)		基準	限界	0.25	8	7.6	0.5	10	9.6	ツナギジクを交換する。
定格荷重 (t)	A寸法 (mm)													
	基準	限界												
0.25	8	7.6												
0.5	10	9.6												

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法										
その他	クサリガイドの変形を目視で確認する  	<ul style="list-style-type: none"> 溝が潰れたり変形や割れのないこと。 	クサリガイドを交換する。										
	チェーンメピンの変形・摩耗・腐食（錆）を目視とノギスで確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 目視で変形が明らかなものは使用限界。 キズ・変形のないこと。 著しい腐食（錆）がないこと。 （d 寸法を測定） <table border="1" data-bbox="678 862 1173 1019"> <thead> <tr> <th rowspan="2">定格荷重 (t)</th> <th colspan="2">チェーンメピン直径</th> </tr> <tr> <th>基準</th> <th>限界</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.25</td> <td>3.9</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>0.5</td> <td>5</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>	定格荷重 (t)	チェーンメピン直径		基準	限界	0.25	3.9	3.7	0.5	5	4.8
定格荷重 (t)	チェーンメピン直径												
	基準	限界											
0.25	3.9	3.7											
0.5	5	4.8											

■作動テスト

⚠ 危険

!
強制

年次点検が終了したら、作動テストを行って正しく動作することを確認してください。

これを守らないと死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

項目	点検方法	使用限界または判定基準	対処方法
無負荷テスト	巻き上げ・巻き下げを数回繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> 手動力が軽く操作できること。 巻き上げ時、ツメ音が「カチカチ」と規則正しく鳴ること。 	正常に組み立てられているか、部品に異常はないか分解して点検する。
定格荷重テスト	定格荷重をつり、20～30cm 上げ下げする 月例点検の「基本動作」の項目を実施する	<ul style="list-style-type: none"> 巻き上げ時、ブレーキ装置のツメの「カチカチ」音が聞こえ、スムーズに動作すること。 音が弱くなったり、不規則音になっていないこと。 巻き下げ時、音がしないこと。 手動力が異常に重くないこと。 ブレーキの滑りが少ないこと。 	

《メモ》

A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

キトーチェーンブロック CX 形

定期点検チェックシート (CX003/005 形)

機種	定格荷重	Lot No.	貴社管理 No.	設置年月日	設置場所

■点検結果表示例：○=良好、△=次回交換（調整）、× =異常あり交換（調整）を要す。

対象	区分	点検項目	点検実施年月日					
月 例 点 検	外 観	ネームプレート（日常点検より）						
		ボディ・その他外観（日常点検より）						
		ナットの緩み、脱落（日常点検より）						
	機 能	巻き上げ・巻き下げ						
		異常音						
		手動力						
		ブレーキ						
	上 下 フ ック	口の開き						
		フックの摩耗・首部の隙間						
		変形・キズ						
		ボルト・ナットの緩み、脱落（日常点検より）						
		フックの回転						
		フックラッチ						
	ロ ー ド チ ェ ー ン	ねじれ（日常点検より）						
		塗油状況（日常点検より）						
		摩耗						
		腐食（錆）						
		変形・キズ						
		スパッタの付着						

実行	点検者名						
チェック	保守管理責任者名						

⚠ 危険



強制

定期点検中に異常を発見したときは、使用を中止して「故障・点検中」の表示をし、修理を保守管理者またはキトーにご相談ください。

異常な製品を使用すると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

お願い

このチェックシートはキトーの定期点検基準マニュアルをベースとした標準サンプルです。お客様の使用環境・条件により、チェックシートのフォーマットを決めて運用してください。

その際には、必ず全ての点検項目を盛り込んでください。

■点検結果表示例：○=良好、△=次回交換（調整）、×=異常あり交換（調整）を要す。

対象	区分	点 検 項 目	点検実施年月日					
年 次 点 検	キ ト ウ	ウエカナグ結合用穴の変形						
		シタカナグ結合用穴の変形 (CX005 のみ)						
		シタカナグ側のチェーンの摩耗						
	ブ レ ー キ 機 構	ブレーキ面の摩耗・キズ						
		ブレーキバンの摩耗・割れ						
		ツメグルマブッシュの摩耗						
		ツメグルマブッシュの含油						
		ツメグルマの摩耗						
		ツメの摩耗						
		ツメバネの変形・キズ						
		腐食（錆）						
		ブレーキウケのツメグルマブッシュ接触部の摩耗						
	巻 き 上 げ 機 構	ロードシーブの摩耗・キズ						
		ロードギヤ・ギヤ2 歯部の摩耗・キズ						
		ピニオンの変形						
		ハンドホイルの摩耗・キズ						
		カムガイドの変形						
		ハンドチェーンのねじれ・変形						
		ピニオン歯部の摩耗・キズ						
	ボ デ イ	ツナギ軸用軸受け穴の変形						
		フレームA・B、軸受け穴の変形						
		ギヤケースの変形・キズ						
		ギヤケースのプレーンベアリングの摩耗						
		ツナギジクの変形・摩耗						
	そ の 他	クサリガイドの変形						
		チェーントメピンの変形・摩耗・腐食（錆）						
	テ ス ト	無負荷テスト						
		定格荷重テスト						

実 行	点検者名						
チェック	保守管理責任者名						

■ 本社／Head Office

本社工場 Head Office & Factory

〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000

《TEL》055-275-7521

《FAX》055-275-6162

東京本社 Tokyo Head Office

〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 9階

《TEL》03-5908-0155

《FAX》03-5908-0159

■ カスタマーセンター／Customer Center of Japan

Tokyo 東部カスタマーセンター 〒163-0809 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NSビル 9階

《TEL》0120-994-404

《FAX》0120-994-504

Osaka 西部カスタマーセンター
(大阪)

〒570-0003

大阪府守口市大日町 2-10-3

《TEL》0120-959-488

《FAX》0120-959-499

Nagoya 西部カスタマーセンター
(名古屋)

〒465-0013

愛知県名古屋市名東区社口 1-1004

《TEL》0120-929-965

《FAX》0120-929-966

■ お客様相談センター／Customer Service Center

受付時間 9:00～17:00 (土・日祝日を除く)

《TEL》0120-988-558

《FAX》0120-988-228

《E-mail》 callcenter@kito.co.jp

無断転載・複写禁止

この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。

この取扱説明書または、製品に関するお問い合わせは、弊社もしくは販売店までご連絡ください。

本製品は日本国内での使用を前提として設計・販売されております。本製品を日本国外で使用する場合は、製品仕様が使用国の法令、規格へ適合していない可能性がありますので、事前に弊社までご相談ください。